



平成 29 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 神鋼鋼線工業株式会社  
代表者名 取締役社長 藤 井 晃 二  
(コード番号 5660 東証第 2 部)  
問合せ先 取締役総務本部長兼同総務部長兼  
企画部長  
吉 田 裕 彦  
(TEL 06-6411-1051)

(訂正・数値データ訂正) 「平成 29 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」  
の一部訂正について

当社は、平成 29 年 2 月 8 日付「過年度の連結財務諸表等に関する誤謬の判明及び平成 29 年 3 月期第 3 四半期決算発表の延期に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 28 年 11 月 8 日付「平成 29 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には\_\_を付して表示しております。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

以 上

(訂正後)



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5660 URL <http://www.shinko-wire.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤井 晃二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長兼同 (氏名) 吉田 裕彦 (TEL) 06-6411-1051  
 総務部長兼企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日 配当支払開始予定日 平成28年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	13,453	△7.6	327	△61.6	199	△52.3	117	23.8
28年3月期第2四半期	14,565	3.8	853	86.1	417	47.3	94	△0.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 102百万円(△12.0%) 28年3月期第2四半期 116百万円(△41.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	2.25	—
28年3月期第2四半期	1.82	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	41,556	19,245	37.7
28年3月期	42,341	19,338	37.2

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 15,680百万円 28年3月期 15,752百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
29年3月期	—	2.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 期末配当予想額については未定であります。

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,700	△5.0	950	△46.1	700	△38.4	400	△24.1	7.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期2Q	58,698,864株	28年3月期	58,698,864株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	6,661,607株	28年3月期	6,659,321株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期2Q	52,038,736株	28年3月期2Q	52,046,632株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、金融緩和・財政政策等から、企業収益や雇用環境は緩やかな回復基調が続いていますが、円高等による国内経済環境の悪化や中国の景気減速を始めとした海外経済の下振れや英国のEU離脱問題などにより、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、公共投資関連需要では高速道路建設工事故に伴う一斉安全点検による工事進捗の遅延の影響、また民間投資関連需要では人手不足等によるマンション向け需要の工事着工遅れがあり、低調に推移しました。

このような状況に対して、当社グループでは、高付加価値製品の販売拡大による収益力の向上と競争力強化を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,453百万円と前年同期に比べ7.6%の減少となり、営業利益は327百万円（前年同期比526百万円減少）、経常利益は199百万円（前年同期比218百万円減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は117百万円（前年同期比22百万円増加）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント毎の業績は次のとおりです。

#### <特殊鋼線関連事業>

(PC関連製品)公共事業関連では、前年度発注物件の工事開始遅れと新名神高速道路の開通延期による建設工事の進捗遅れにより、販売数量、売上金額とも前年同期に比べ減少しました。民間投資関連では、人手不足等によるマンション向け需要の着工遅れがあり、マンション需要は低調に推移しましたが、倉庫物件やLNGタンクのプロジェクト物件は堅調に推移しました。全体としては、一部輸出が寄与しましたが、国内の減少分を補いきれず、販売数量、売上金額とも前年同期に比べ減少しました。

(ばね・特殊線関連製品)自動車産業向けの弁ばね用鋼線(オイルテンパー線)は、国内向けに加え、海外向けについても中国向け・北米向けを中心に堅調に推移したことから、前年同期に比べ販売数量、売上金額ともに増加しました。ばね用ニッケルめっき鋼線は、主要な需要分野であるプリンター生産が中国の景気減速等の影響で低調である中、東南アジア向けの新規拡販により販売数量は前年同期に比べ増加しましたが、円高影響により売上金額は前年同期並みとなりました。ステンレス鋼線については、主要分野である住宅関連需要が低調である中、自動車分野や新規客先開拓での販売拡大に努め、販売数量は前年同期並みを確保しましたが、売上金額は前年同期に比べ減少となりました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の売上高は6,781百万円と前年同期に比べ3.9%減少となり、営業利益は297百万円と前年同期に比べ151百万円の減少となりました。

#### <鋼索関連事業>

ワイヤロープの国内需要は依然として人手不足による土建分野の停滞継続に加え、海外市況悪化に伴った建機・船舶分野の減速により市場は縮小し、国内向けの販売数量、売上金額とも前年同期に比べ減少しました。輸出については中国景気の低迷はあるものの、港湾向け・エレベータ向けなどで安定した受注を確保し、販売数量、売上金額とも前年同期並みとなりました。

その結果、鋼索関連事業全体の売上高は6,032百万円と前年同期に比べ10.3%減少となり、営業利益は69百万円と前年同期に比べ317百万円の減少となりました。

#### <エンジニアリング関連事業>

高速道路の二重安全対策や道路騒音防止関連製品の売上金額は前年同期に比べ増加しましたが、橋梁・建築向け構造用ケーブルの売上金額は前年同期に比べ減少しました。落橋防止ケーブルの売上金額は前年同期に比べ若干減少しました。

その結果、エンジニアリング関連事業全体の売上高は608百万円と前年同期に比べ19.4%減少となり、営業損益は63百万円の損失（前年同期は6百万円の損失）となりました。

#### <その他>

不動産関連事業の売上高、営業利益はそれぞれ31百万円、24百万円と前年同期並みとなりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、785百万円減少の41,556百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金の減少によるものです。

負債は、693百万円減少の22,310百万円となりました。これは主として長期借入金の減少によるものです。

純資産は、92百万円減少の19,245百万円となりました。これは主として為替換算調整勘定の減少によるものです。また、自己資本比率は37.7%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の業績予想につきましては、平成28年8月26日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,732	6,280
受取手形及び売掛金	6,092	5,025
電子記録債権	2,978	2,990
商品及び製品	3,727	3,717
仕掛品	2,680	2,798
原材料及び貯蔵品	1,622	1,461
繰延税金資産	355	353
その他	765	774
貸倒引当金	△57	△54
流動資産合計	<u>23,898</u>	<u>23,346</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,729	3,699
機械装置及び運搬具（純額）	4,891	4,709
工具、器具及び備品（純額）	189	178
土地	5,774	5,774
リース資産（純額）	48	34
建設仮勘定	39	81
有形固定資産合計	<u>14,673</u>	<u>14,478</u>
無形固定資産	284	281
投資その他の資産		
投資有価証券	1,419	1,298
繰延税金資産	<u>1,113</u>	<u>1,126</u>
その他	995	1,066
貸倒引当金	△41	△41
投資その他の資産合計	<u>3,485</u>	<u>3,449</u>
固定資産合計	<u>18,443</u>	<u>18,209</u>
資産合計	<u>42,341</u>	<u>41,556</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,551	2,359
短期借入金	6,411	8,106
リース債務	28	23
未払費用	1,141	1,165
未払法人税等	341	164
賞与引当金	605	608
その他	739	402
流動負債合計	11,819	12,830
固定負債		
長期借入金	6,781	5,037
リース債務	29	17
役員退職慰労引当金	59	24
環境対策引当金	14	14
退職給付に係る負債	3,793	3,877
繰延税金負債	247	250
その他	258	258
固定負債合計	11,183	9,479
負債合計	23,003	22,310
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	6,354	6,354
利益剰余金	2,803	2,764
自己株式	△1,360	△1,360
株主資本合計	15,860	15,821
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105	63
為替換算調整勘定	143	93
退職給付に係る調整累計額	△356	△297
その他の包括利益累計額合計	△108	△140
非支配株主持分	3,585	3,564
純資産合計	19,338	19,245
負債純資産合計	42,341	41,556



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	14,565	13,453
売上原価	11,384	10,749
売上総利益	3,181	2,703
販売費及び一般管理費	2,328	2,375
営業利益	853	327
営業外収益		
受取利息	22	19
受取配当金	17	21
固定資産賃貸料	23	22
貸倒引当金戻入額	0	—
その他	8	4
営業外収益合計	71	67
営業外費用		
支払利息	68	50
持分法による投資損失	356	18
その他	82	126
営業外費用合計	507	195
経常利益	417	199
特別利益		
投資有価証券売却益	—	21
特別利益合計	—	21
税金等調整前四半期純利益	417	221
法人税、住民税及び事業税	298	106
法人税等調整額	△24	△22
法人税等合計	274	84
四半期純利益	143	136
非支配株主に帰属する四半期純利益	48	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	94	117

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	143	136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	△42
為替換算調整勘定	1	△6
退職給付に係る調整額	31	59
持分法適用会社に対する持分相当額	△17	△44
その他の包括利益合計	△26	△34
四半期包括利益	116	102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	71	84
非支配株主に係る四半期包括利益	45	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,057	6,721	755	14,534	31	14,565	—	14,565
セグメント間の内部売上高 又は振替高	697	210	9	917	—	917	△917	—
計	7,754	6,932	765	15,451	31	15,482	△917	14,565
セグメント損益	448	386	△6	828	24	853	—	853

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,781	6,032	608	13,421	31	13,453	—	13,453
セグメント間の内部売上高 又は振替高	415	171	5	591	—	591	△591	—
計	7,196	6,203	613	14,013	31	14,045	△591	13,453
セグメント損益	297	69	△63	303	24	327	—	327

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

### 3. 参考

平成28年3月期決算及び平成29年3月期通期予想（連結）

#### （1）業績の概要

（単位：百万円）

	平成28年3月期		平成29年3月期		対前年同期比較	
	第2四半期 実績	通期 実績	第2四半期 実績	通期 予想	第2四半期	通期
売上高	14,565	29,151	13,453	27,700	△1,112	△1,451
セグメント別内訳						
1. 特殊鋼線関連事業	7,057	14,211	6,781	13,740	△276	△471
2. 鋼索関連事業	6,721	13,099	6,032	12,000	△689	△1,099
3. エンジニアリング関連事業	755	1,777	608	1,900	△146	122
4. その他	31	62	31	60	—	△2
営業利益	853	1,757	327	950	△525	△807
セグメント別内訳						
1. 特殊鋼線関連事業	448	1,012	297	700	△151	△312
2. 鋼索関連事業	386	613	69	170	△316	△443
3. エンジニアリング関連事業	△6	81	△63	40	△57	△41
4. その他	24	48	24	40	—	△8
経常利益	417	1,131	199	700	△218	△431
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	94	541	117	400	22	△141
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	1.82	10.41	2.25	7.68	0.42	△2.73

#### （2）設備投資及び減価償却費

（単位：百万円）

	平成28年3月期		平成29年3月期		対前年同期比較	
	第2四半期 実績	通期 実績	第2四半期 実績	通期 予想	第2四半期	通期
設備投資	404	1,133	302	1,800	△101	666
減価償却費	511	1,047	536	1,060	25	13

#### （3）キャッシュ・フロー

（単位：百万円）

	平成28年3月期		平成29年3月期		対前年同期比較	
	第2四半期 実績	通期 実績	第2四半期 実績	通期 予想	第2四半期	通期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,239	1,221	1,361	1,400	122	178
投資活動によるキャッシュ・フロー	△515	△1,354	△559	△1,500	△44	△145
財務活動によるキャッシュ・フロー	△175	△1,638	△248	△400	△72	1,238
現金及び現金同等物の期末残高	8,055	5,731	6,278	5,231	△1,777	△500

#### （4）有利子負債及び金融収支

（単位：百万円）

	平成28年3月期		平成29年3月期		対前年同期比較	
	第2四半期 実績	通期 実績	第2四半期 実績	通期 予想	第2四半期	通期
有利子負債	14,541	13,193	13,143	13,200	△1,397	6
金融収支	△28	△69	△10	△40	18	29

(訂正前)



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5660 URL <http://www.shinko-wire.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤井 晃二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長兼同 (氏名) 吉田 裕彦 (TEL) 06-6411-1051  
 総務部長兼企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日 配当支払開始予定日 平成28年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	13,453	△7.6	327	△61.7	199	△52.6	117	21.3
28年3月期第2四半期	14,552	3.7	856	88.4	420	48.4	96	1.4

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 102百万円(△13.5%) 28年3月期第2四半期 118百万円(△40.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
29年3月期第2四半期	円 銭 2.25	円 銭 —
28年3月期第2四半期	1.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
29年3月期第2四半期	百万円 41,736	百万円 19,426	% 38.0
28年3月期	42,577	19,519	37.4

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 15,861百万円 28年3月期 15,933百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	円 銭 —	円 銭 2.00	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 5.00
29年3月期	—	2.00			
29年3月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 期末配当予想額については未定であります。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,700	△5.0	950	△46.1	700	△38.4	400	△24.1	7.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期2Q	58,698,864株	28年3月期	58,698,864株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	6,661,607株	28年3月期	6,659,321株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期2Q	52,038,736株	28年3月期2Q	52,046,632株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、金融緩和・財政政策等から、企業収益や雇用環境は緩やかな回復基調が続いていますが、円高等による国内経済環境の悪化や中国の景気減速を始めとした海外経済の下振れや英国のEU離脱問題などにより、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、公共投資関連需要では高速道路建設工事故に伴う一斉安全点検による工事進捗の遅延の影響、また民間投資関連需要では人手不足等によるマンション向け需要の工事着工遅れがあり、低調に推移しました。

このような状況に対して、当社グループでは、高付加価値製品の販売拡大による収益力の向上と競争力強化を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,453百万円と前年同期に比べ7.6%の減少となり、営業利益は327百万円（前年同期比528百万円減少）、経常利益は199百万円（前年同期比221百万円減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は117百万円（前年同期比20百万円増加）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント毎の業績は次のとおりです。

#### <特殊鋼線関連事業>

(PC関連製品)公共事業関連では、前年度発注物件の工事開始遅れと新名神高速道路の開通延期による建設工事の進捗遅れにより、販売数量、売上金額とも前年同期に比べ減少しました。民間投資関連では、人手不足等によるマンション向け需要の着工遅れがあり、マンション需要は低調に推移しましたが、倉庫物件やLNGタンクのプロジェクト物件は堅調に推移しました。全体としては、一部輸出が寄与しましたが、国内の減少分を補いきれず、販売数量、売上金額とも前年同期に比べ減少しました。

(ばね・特殊線関連製品)自動車産業向けの弁ばね用鋼線(オイルテンパー線)は、国内向けに加え、海外向けについても中国向け・北米向けを中心に堅調に推移したことから、前年同期に比べ販売数量、売上金額ともに増加しました。ばね用ニッケルめっき鋼線は、主要な需要分野であるプリンター生産が中国の景気減速等の影響で低調である中、東南アジア向けの新規拡販により販売数量は前年同期に比べ増加しましたが、円高影響により売上金額は前年同期並みとなりました。ステンレス鋼線については、主要分野である住宅関連需要が低調である中、自動車分野や新規客先開拓での販売拡大に努め、販売数量は前年同期並みを確保しましたが、売上金額は前年同期に比べ減少となりました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の売上高は6,781百万円と前年同期に比べ3.7%減少となり、営業利益は297百万円と前年同期に比べ152百万円の減少となりました。

#### <鋼索関連事業>

ワイヤロープの国内需要は依然として人手不足による土建分野の停滞継続に加え、海外市況悪化に伴った建機・船舶分野の減速により市場は縮小し、国内向けの販売数量、売上金額とも前年同期に比べ減少しました。輸出については中国景気の低迷はあるものの、港湾向け・エレベータ向けなどで安定した受注を確保し、販売数量、売上金額とも前年同期並みとなりました。

その結果、鋼索関連事業全体の売上高は6,032百万円と前年同期に比べ10.3%減少となり、営業利益は69百万円と前年同期に比べ318百万円の減少となりました。

#### <エンジニアリング関連事業>

高速道路の二重安全対策や道路騒音防止関連製品の売上金額は前年同期に比べ増加しましたが、橋梁・建築向け構造用ケーブルの売上金額は前年同期に比べ減少しました。落橋防止ケーブルの売上金額は前年同期に比べ若干減少しました。

その結果、エンジニアリング関連事業全体の売上高は608百万円と前年同期に比べ19.4%減少となり、営業損益は63百万円の損失（前年同期は6百万円の損失）となりました。

#### <その他>

不動産関連事業の売上高、営業利益はそれぞれ31百万円、24百万円と前年同期並みとなりました。



## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、840百万円減少の41,736百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金の減少によるものです。

負債は、747百万円減少の22,310百万円となりました。これは主として長期借入金の減少によるものです。

純資産は、92百万円減少の19,426百万円となりました。これは主として為替換算調整勘定の減少によるものです。また、自己資本比率は38.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の業績予想につきましては、平成28年8月26日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,732	6,280
受取手形及び売掛金	6,092	5,025
電子記録債権	2,978	2,990
商品及び製品	3,727	3,717
仕掛品	2,680	2,798
原材料及び貯蔵品	1,622	1,461
繰延税金資産	355	353
その他	626	635
貸倒引当金	△57	△54
流動資産合計	<u>23,759</u>	<u>23,207</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,729	3,699
機械装置及び運搬具（純額）	4,891	4,709
工具、器具及び備品（純額）	189	178
土地	5,774	5,774
リース資産（純額）	48	34
建設仮勘定	39	81
有形固定資産合計	<u>14,673</u>	<u>14,478</u>
無形固定資産	284	281
投資その他の資産		
投資有価証券	1,419	1,298
繰延税金資産	<u>1,487</u>	<u>1,447</u>
その他	995	1,066
貸倒引当金	△41	△41
投資その他の資産合計	<u>3,859</u>	<u>3,769</u>
固定資産合計	<u>18,817</u>	<u>18,529</u>
資産合計	<u>42,577</u>	<u>41,736</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,551	2,359
短期借入金	6,411	8,106
リース債務	28	23
未払費用	1,141	1,165
未払法人税等	341	164
賞与引当金	605	608
その他	739	402
流動負債合計	11,819	12,830
固定負債		
長期借入金	6,781	5,037
リース債務	29	17
役員退職慰労引当金	59	24
環境対策引当金	14	14
退職給付に係る負債	3,793	3,877
繰延税金負債	301	250
その他	258	258
固定負債合計	11,238	9,479
負債合計	23,057	22,310
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	6,354	6,354
利益剰余金	2,984	2,945
自己株式	△1,360	△1,360
株主資本合計	16,041	16,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105	63
為替換算調整勘定	143	93
退職給付に係る調整累計額	△356	△297
その他の包括利益累計額合計	△108	△140
非支配株主持分	3,585	3,564
純資産合計	19,519	19,426
負債純資産合計	42,577	41,736

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	14,552	13,453
売上原価	11,369	10,749
売上総利益	3,183	2,703
販売費及び一般管理費	2,327	2,375
営業利益	856	327
営業外収益		
受取利息	22	19
受取配当金	17	21
固定資産賃貸料	23	22
貸倒引当金戻入額	0	—
その他	8	4
営業外収益合計	71	67
営業外費用		
支払利息	68	50
持分法による投資損失	356	18
その他	82	126
営業外費用合計	507	195
経常利益	420	199
特別利益		
投資有価証券売却益	—	21
特別利益合計	—	21
税金等調整前四半期純利益	420	221
法人税、住民税及び事業税	298	106
法人税等調整額	△23	△22
法人税等合計	275	84
四半期純利益	145	136
非支配株主に帰属する四半期純利益	48	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	96	117

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	145	136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	△42
為替換算調整勘定	1	△6
退職給付に係る調整額	31	59
持分法適用会社に対する持分相当額	△17	△44
その他の包括利益合計	△26	△34
四半期包括利益	118	102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73	84
非支配株主に係る四半期包括利益	45	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,044	6,721	755	14,521	31	14,552	—	14,552
セグメント間の内部売上高 又は振替高	697	210	9	917	—	917	△917	—
計	7,741	6,932	765	15,438	31	15,469	△917	14,552
セグメント損益	449	388	△6	831	24	856	—	856

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,781	6,032	608	13,421	31	13,453	—	13,453
セグメント間の内部売上高 又は振替高	415	171	5	591	—	591	△591	—
計	7,196	6,203	613	14,013	31	14,045	△591	13,453
セグメント損益	297	69	△63	303	24	327	—	327

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

### 3. 参考

平成28年3月期決算及び平成29年3月期通期予想（連結）

#### （1）業績の概要

（単位：百万円）

	平成28年3月期		平成29年3月期		対前年同期比較	
	第2四半期実績	通期実績	第2四半期実績	通期予想	第2四半期	通期
売上高	14,552	29,151	13,453	27,700	△1,099	△1,451
セグメント別内訳						
1. 特殊鋼線関連事業	7,044	14,211	6,781	13,740	△263	△471
2. 鋼索関連事業	6,721	13,099	6,032	12,000	△689	△1,099
3. エンジニアリング関連事業	755	1,777	608	1,900	△146	122
4. その他	31	62	31	60	—	△2
営業利益	856	1,761	327	950	△528	△811
セグメント別内訳						
1. 特殊鋼線関連事業	449	1,014	297	700	△152	△314
2. 鋼索関連事業	388	615	69	170	△318	△445
3. エンジニアリング関連事業	△6	81	△63	40	△57	△41
4. その他	24	48	24	40	—	△8
経常利益	420	1,135	199	700	△221	△435
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	96	527	117	400	20	△127
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	1.85	10.12	2.25	7.68	0.39	△2.44

#### （2）設備投資及び減価償却費

（単位：百万円）

	平成28年3月期		平成29年3月期		対前年同期比較	
	第2四半期実績	通期実績	第2四半期実績	通期予想	第2四半期	通期
設備投資	404	1,133	302	1,800	△101	666
減価償却費	511	1,047	536	1,060	25	13

#### （3）キャッシュ・フロー

（単位：百万円）

	平成28年3月期		平成29年3月期		対前年同期比較	
	第2四半期実績	通期実績	第2四半期実績	通期予想	第2四半期	通期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,239	1,221	1,361	1,400	122	178
投資活動によるキャッシュ・フロー	△515	△1,354	△559	△1,500	△44	△145
財務活動によるキャッシュ・フロー	△175	△1,638	△248	△400	△72	1,238
現金及び現金同等物の期末残高	8,055	5,731	6,278	5,231	△1,777	△500

#### （4）有利子負債及び金融収支

（単位：百万円）

	平成28年3月期		平成29年3月期		対前年同期比較	
	第2四半期実績	通期実績	第2四半期実績	通期予想	第2四半期	通期
有利子負債	14,541	13,193	13,143	13,200	△1,397	6
金融収支	△28	△69	△10	△40	18	29